E S G コンプライアンスとインテグリティの追求



人権の尊重
-人権デュー・ディリジェンスの継続実施と課題改善

当社グループは、2022年に「グループ人権方針」を制定しました。さらに2023年には、事業における重要な人権課題を特定し、それらに対処するための「人権デュー・ディリジェンスガイドライン」を策定しました。これらに基づき、人権への負の影響を防止・軽減するため、人権デュー・ディリジェンスを継続的に実施しています。

人権方針

博報堂DYグループ人権方針

私たち、博報堂DYグループは、最大の資産であるクリエイティビティを
発揮する人財を通じて、生活者の想いがあふれ、
いきいきと活躍できる社会の実現を目指しています。

人権の尊重はグループの存立基盤であり、倫理的かつ持続可能なビジネスの根幹を
なすものとして推進しています。私たちは、人権を尊重する責任をよりいっそう果たすべく、
「国連ビジネスと人権に関する指導原則」が掲げる保護・尊重・救済のフレームワークに
依拠し、グループの人権方針を制定しました。

詳細 ▶ WEB 人権方針全文

推進体制

年に2回開催されるグループサステナビリティ委員会において、経営レベルでの監督を行うとともに、人権尊重の取り組みや人権リスクに関する進捗管理・見直しを実施しています。また、重要な事項については取締役会での審議・決議を経て決定するほか、必要に応じてグループコンプライアンス委員会へ共有するなど、適切なリスク管理体制を構築しています。

人権デュー・ディリジェンスを実施し、特に顕著な人権課題への取り組みに対するモニタリング機能を果たしながら、人権侵害への直接的・間接的な関与を回避するため、合理的措置を講じています。

人権デュー・ディリジェンス

顕著な人権課題

人権課題		人権への負の影響を受ける可能性のあるライツホルダー		
		従業員	調達先*	生活者
表現・情報発信	制作プロセスにおける表現の制約	中	中	—
	表現及び情報発信を起因とする差別など	—	—	高
	個人情報の流出、プライバシーの侵害	低	—	高
労働	就業における差別やハラスメント	高	高	—
	採用における差別	低	低	—
	過重労働・長時間労働／安全と健康	高	高	—
	強制労働	低	中	—
	児童労働	低	中	—
宗教	宗教の自由	中	中	—

* 主に協力機関

救済措置

人権侵害を受けた方が救済を受けられるよう全役職員から企業内通報・相談を受け付ける対応窓口を設置し、モニタリングや対応策の検討、およびグループコンプライアンス委員会への報告を行っています。

詳細 ▶ WEB 救済メカニズム（対応窓口）

E S G コンプライアンスとインテグリティの追求

人権の尊重
-人権デュー・ディリジェンスの継続実施と課題改善

人権研修とアセスメント

当社グループでは、国内主要会社*の正社員・契約社員を対象に「人権研修」を実施しています。本研修は、人権に対する理解を深め、日常生活や業務において人権を尊重した行動につなげることを目的としています。また、人権研修の浸透度を測定するとともに、個別の人権課題を把握・評価するためのアンケート調査も実施しています。

人権研修
受講率 92.2%
（2025年実績）

人権アセスメント
回答率 83.2%
（2025年実績）

* 対象会社と集計範囲：博報堂、大広、大広WEDO、読売広告社、Hakuhodo DY ONE、ソウルドアウト（連結）、博報堂テクノロジーズ、博報堂プロダクツ

人権アセスメント（アンケート）結果（2026年3月期対象）

全般	喫緊に対応しなければならない重大な人権リスクは発見されませんでした。
人権の基本的理解度	人権の基本的理解度については、各社9割を超えました。
人権対応体制	通報窓口の認知度は非常に高い結果となりました。一方で、利用方法への理解や、利用にあたっての不安の解消に向けて、さらなる理解促進を図る必要があります。今後も、様々な施策を通じて通報窓口の周知を徹底し、安心して利用できる環境の整備を進めていきます。
顕著な人権課題に関する顕在的なリスク	「過重労働・長時間労働」「安全と健康」「就業における差別やハラスメント」については、前年度と比較して着実な改善傾向がみられていますが、さらなる改善に向けて、リスクの防止・低減に向けた施策を計画し、推進しています。グループ各社では、それぞれの状況に応じて、勤怠管理の徹底や相談窓口の周知強化など、具体的な取り組みを進めています。

マーケティング活動におけるインテグリティ（誠実性）
-責任あるコミュニケーション開発

広告をはじめとした各種表現に関わる企業グループとして、あらゆるステークホルダーから信頼される、責任あるコミュニケーション開発を推進しています。当社グループの社員がクリエイティブに向き合う時の行動指針を定め、社員への周知徹底を通じてクリエイティビティの価値向上に向けて不断の努力を行っています。

またグループでコンプライアンスナレッジに関する共有プラットフォームを整備し、コミュニケーション開発に不可欠な基本知識の共有を図っています。プラットフォームでは「グループ共通ルール」や「生成AI活用ルール」、「表現リスク」などを解説した動画コンテンツをいつでも視聴でき、社員のリスク理解を深めています。

さらに、グループ各社では、表現に関するリスクをテーマとした研修を実施するなど、社員一人ひとりの意識向上と、責任あるコミュニケーションの実践に努めています。

E S G コンプライアンスとインテグリティの追求

コンプライアンス／高い倫理性の堅持 -サプライチェーンマネジメント

博報堂DYグループは、あらゆるステークホルダーの責任あるパートナーとして、持続可能なサプライチェーン構築・維持のため、法令遵守はもとより、環境や人権にも配慮した責任ある調達を推進しています。「博報堂DYグループ調達基本方針」を策定し、サプライヤーに対して求める遵守事項をまとめた「博報堂DYグループ 調達ガイドライン」を策定しています。

調達方針

博報堂DYグループ調達基本方針

私たちは「生活者、企業、社会。それぞれの内なる想いを解き放ち、時代をひらく力にする。Aspirations Unleashed」をグローバルパーパスとして掲げ、あらゆるステークホルダーの責任あるパートナーとなって、生活者を起点としたクリエイティビティで、生活者・企業・社会をつなぎ、あらたな関係価値を生み出すことで、未来を創造することを目指しています。
その実現のため、ここに「博報堂DYグループ調達基本方針」を定めます。

- 私たちは、健全かつ公正で対等なパートナーシップに基づく取引を行います。
- 私たちは、法令を遵守した取引を行います。
- 私たちは、サプライヤーの選定にあたってはコンプライアンスへの取り組みを充分に考慮します。
- 私たちと協働していただく皆さまにお願いする事項を「博報堂DYグループ調達ガイドライン」として定めます。
- 私たちは、グローバルパーパスのもと、人を中心としたサステナブルな経営を実現するため、「持続可能な地球環境への貢献」「多様な個の成長と尊重によるクリエイティビティの発揮」「コンプライアンスとインテグリティの追求」を目指して、責任ある調達を推進します。
- 私たちは、サプライヤーの皆さまに、適正な品質・コスト・納期を実現いただくだけでなく、私たちとともに新たな価値創造に取り組んでいただくことを期待します。
- 私たちは、取引を通じて知り得た情報を厳格に管理し、情報セキュリティの確保と実践に努めます。

本方針は当社の取締役会によって決議し、今後も責任ある調達の実現に向けた取り組み強化のため、定期的に見直し、改善していきます。

詳細 ▶ WEB 調達方針全文

推進体制

年に2回開催されるグループサステナビリティ委員会において、経営レベルでの監督を行うとともに、サプライチェーンマネジメントにおける取り組みやリスクの進捗管理・見直しを行います。また、重要事項については取締役会への報告・審議を経て意思決定を行うほか、必要に応じてグループコンプライアンス委員会への報告・共有を行うなど、適切なリスク管理体制を構築しています。

グループ各社が参加するサステナビリティ推進本部の傘下に「サプライチェーンマネジメント・ワーキンググループ」を設置し、サプライヤーのスクリーニング、「博報堂DYグループ 調達ガイドライン」への合意取得、サプライヤーのアセスメントなどの活動を推進しています。